

10月1日(日)日中友好協会倉敷支部映画会開催 上映作品・台湾映画「セデック・バレ」魏徳聖監督

「セデック・バレ」第1部「太陽旗」の解説 犬飼繁

台湾の原住民は高山族と呼ばれ、山岳地帯でイノシシや鹿を捕って生活する狩猟民です。その中でも台湾中部の山岳地帯に住むセデック族は誇り高さ人々で、いくつかの集落に分かれて生活し、獲物の良く捕れる狩場をめぐって集落同士で争うこともあり、殺した相手の首を狩る首狩り族でもありました。

この映画の主人公、モーナ=ルダオはセデック族のマヘボ社という集落の指導者で、何人もの首を狩った猛者として、村の内外に勇名をとどろかせていました。

しかし 1895 年、日清戦争で清が破れ、台湾で日本の統治が始まると、皇民化政策が推し進められ、新しい文化・文明がもたらされる一方、セデック族独自の文化や習慣がないがしろにされ、日本が進める樹木の伐採や運搬の労働を強制され、また服従を強いられていくようになりました。

モーナ=ルダオはそうした日本の支配に何度も抵抗しますが、ついに屈服させられてしまいます。

1930 年、マヘボ社の頭目となったモーナ=ルダオは依然として鬱屈した日々を耐え抜いていました。セデック族では死ぬと虹の橋を渡って先祖の下に行くという信仰があります。

「今の自分たちは虹の橋を渡って先祖の下に行くときに、先祖に顔向けできるのか？ 誇り高いセデック族の誇りを取り戻したい。」という思いがモーナ=ルダオの胸にこみ上げてきます。「セデック・バレ」とは「真の人」という意味です。

そんな時、結婚式の祝いをやっている席に、たまたまやってきた日本人の警察官に酒を勧めたところ、「お前らの酒が飲めるか。」とばかりに暴力を振るわれたマヘボ社の若者たちが、モーナ=ルダオのところにやってきて日本人へ復讐したい思いをぶつけます。「そんなことをしたら、われわれは全滅するぞ。」とモーナ=ルダオは言いますが、若者たちの決意も固く、モーナ=ルダオも「魂の自由」を回復するために日本との戦いを決意し、セデック族の他の集落へも蜂起を呼びかけます。

セデック族の中には日本の支配を受け入れ、日本の

警官になった人々もいました。霧社事件はセデック族の駐在所への攻撃から始まります。折しも小学校では運動会が開かれており、大勢の日本人が集まっていた。セデック族はその小学校を襲います。こうして蜂起は広がり、日本側の報復も始まります。

監督の魏徳聖(ウェイ・ダーション)は霧社事件を知ったとき、大きなショックを受け、資料を集めてこの映画の構想を練りました。構想から映画の完成まで実に8年を費やしています。映画でセデック族を演じたのは彼らの子孫たちです。台湾の人たちの誇りをかけた作品です。

参加者の感想

70代女性

「大変よかった。是非つづきを見たいと思います。映像も音楽もよく、心にしみる映画です。」

70代男性

「『霧社事件』の真相がよくわかり、改めて認識を新たにしました。戦前日本の台湾蛮行を見せつけられました。今、『台湾有事』なんて騒いでいるのが恥ずかしい。『霧社事件』の実像を見せつけられ、突きつけられた思いがしました。ホントに『一体なぜこんなことが・・・』という思いがした。」

70代女性

「本当に台湾であった話でしょうか。日本人が何か資源を探しに、台湾を日本の領土として、日本語まで押しつけた話はよく聞きます。セデックという民族もいたのでしょうか。怖い話です。」

70代男性

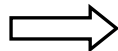
「世界史を学習したが、台湾については皆無に等しく、もっと知りたい。今回の映画は、日本統治下における日本軍と原住民との戦いの様子だが、国力の差を感じる。日本と台湾の関係が大きくかわっている。日本軍というか、日本の対応が大きいと思う。」

70代女性

「『前事不忘、後事の師』よい機会を与えていただき、ありがとうございました。また、歌も心に深く残りました。次回を楽しみにしております。」



日本の警察に取り押さえられたモーナ=ルダオ



題字 菅原田 親
No. 1010
2023/11/15



発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都千代田区浅草橋2-2-3
日中ビル5階
電話 03(5839)2146(代)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcfa.or.jp
E-mail:jcfa@jcf.or.jp
NH 00119-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒712-0024
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL/FAX 086(2)259-1808

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福日町通22461-41
TEL/FAX 086(4)411-7860

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net>
メールアドレス
nitchuokayama@yahoo.co.jp
QRコード

戦後最悪の国会

犬飼 繁

六月二十一日、第二一回通常国会が閉会しました。日曜日の朝八時〜放映されているTBS系ニュース番組サンデーモーニングに隔週でコメンテーターを務めている青木理さんは今国会を「戦後最悪の国会」と評価されました。今国会で通過した主な法案を挙げてみると、「軍拡財源法」「原発推進法」「改定入管法」「健康保険証廃止法」「LGBT法」「軍需産業支援法」となります。

「軍拡財源法」では今後五年間で四十三兆円の軍事費をつぎ込み、軍事費を対GDP比2%まで引き上げるとし、「敵基地攻撃能力」を保持するとしています。これは戦後日本政府が堅持してきた防衛政策「専守防衛」を放棄し、憲法9条を実質的に骨抜きにするものです。政府は軍事機密を理由に「なぜ四十三兆円なのか？」という国会での質問にもまともに対応していません。これには自民党内からも、「元防衛相の岩屋毅のように疑問を呈する声が上がっています。防衛増税に反対するのはなく、防衛費の増加そのものに反対することが肝要です。」

「原発推進法」は本来四十年で廃炉にしていた原発を六十年まで運転できるようにし、さらに原子力規制庁の審査に合格すれば運転停止していた期間を六十年を超えても運転できるといふものです。福島第一原発の過酷な事故やその後の遅々として進まない廃炉作業を忘れたかのような決定に強い憤りを覚えます。高濃度放射性廃棄物の最終処分の問題も全くめどが立たない状況で、さらに、汚染水の海への放出に反対の声があるにもかかわらず、今後も原発推進を図る政府を許すことはできません。

改定入管法

「改定入管法」は二年前に廃案になったものとほぼ同じものを通過させました。難民認定申請中であつても三度目からは強制送還できると改悪されました。日本の難民認定率は1%にも届かない低率です。いまや日本は人口減少で外国人労働者に頼らなければならぬ状況にあるのに、外国人の人権を無視したこの法案を通したことは大きな間違いです。国連からも「国際的な人権水準に足りていない。」と批判されています。

「健康保険証廃止法」はマイナンバーカードに保険証機能を持たせ、現行の保険証を来年十月に廃止するというものです。高齢者の中にはマイナンバーカード取得の手続きも難しい人もおり、現行の保険証を廃止しないでほしいという声も多くあり、自民党の中からも「廃止時期を延期しては？」との声が上がっているにもかかわらず、河野大臣や岸田首相からは「国民に丁寧の説明する。」と予定通りの廃止の方針を変更していません。医療現場からも不安の声が上がっています。これだけマイナンバーをめぐる不祥事が起きているにもかかわらず強行するとは、まともな政治感覚を失っていると思えません。

「LGBT法」は性的マイノリティーへの理解を広めるためのものですが、保守派への配慮からすべての国民が安心して生活できるように留意する。「との一文が盛り込まれました。これに対し、LGBTQの存在がまるで国民の安心を脅かすかのように法律に明記されたことに強い憤りを感じる。」という当事者の意見もあります。外国人の場合もそうですが、多様性を受け入れる社会であつてほしいと思います。

「軍需産業支援法」は軍需産業を防衛力そのものと位置づけ、生産・技術基盤を強化するとした安保三文書を具体化するものです。軍需産業を全面的に支え、産業と経済を軍事に従属させることにつながる懸念があります。現在、殺傷能力のある防衛装備を輸出できるようにしようという動きが自民党であります。それが連動した動きです。軍需産業をテコ入れしようという政府の姿勢は、日本学術会議が軍事研究を拒否していることに對し、推薦した6人の学者を任命拒否したことにも表れています。

倉敷国際ふれあい広場

大本 芳子

十月十五日(日)、倉敷芸文館で「倉敷国際ふれあい広場」が開催され、日中友好協会倉敷支部が参加しました。写真は倉敷支部の展示の様子です。



今後の予定

11月13日(月)	日中友好協会新聞発送作業	10:30~12:00	民主会館
11月14日(火)	日中友好協会井笠支部打ち合わせ会	14:00~16:00	出部公民館
11月19日(日)	日中友好協会岡山支部理事会	10:00~12:00	岡輝公民館
	百科検定勉強会	14:00~16:00	岡輝公民館
11月25日(土)	日中友好協会倉敷支部理事会	15:30~17:00	倉敷公民館
	日中友好協会倉敷支部望年会	17:30~20:00	富来屋
11月27日(月)	日中友好協会新聞発送作業	10:30~12:00	民主会館
11月28日(火)	日中友好協会岡山県支部連合会理事会	10:00~12:00	倉敷公民館

次回の新聞発送作業は
11月27日(月)午前10時半
から

民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方で

井田 真竹